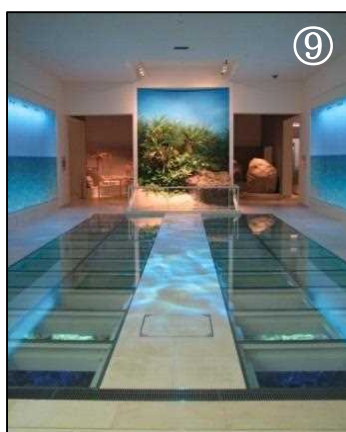


九州・沖縄・山口修学旅行施設案内

～芸術ってすごい！歴史っておもしろい！～



- ①山口県立萩美術館・浦上記念館
- ②九州国立博物館
- ③佐賀県立宇宙科学館
- ④大分県立美術館
- ⑤熊本県立美術館
- ⑥長崎県美術館
- ⑦宮崎県総合博物館
- ⑧鹿児島県霧島アートの森
- ⑨沖縄県立博物館・美術館

(令和3年1月改訂)

はじめに

九州・沖縄・山口には、魅力のある、また、特徴のある文化施設が多数あり、各文化施設では、体験コーナーや学芸員による展示解説など様々な教育プログラムを実施しています。



文化体験は、子ども達の歴史や文化芸術への興味、関心を高め、理解を深めることができます。さらに、誇れる文化が地域にあることを知ることでアイデンティティの確立という教育的な効果に加え、小中学生・高校生という時期の文化体験をきっかけとし、生涯を通じて、文化に親しむ態度の育成が図られます。

本パンフレットでは、九州・沖縄・山口の各文化施設の所在地や連絡先、駐車場、交通アクセスの基本情報に加え、展示概要や学習のポイントなどを紹介しています。

子ども達が文化芸術に触れるきっかけづくりとして、また、歴史や自由研究など学習の一環として、各文化施設を訪れていただきたく存じます。各文化施設を選ぶ際の一つのツールとして、是非、本パンフレットを、ご活用ください。

なお、本パンフレットに掲載している施設は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

九州・沖縄文化力推進会議

九州・沖縄文化力推進会議では、“文化の力で地域・社会を元気に”をモットーに、九州・沖縄・山口各県と経済団体が一体となって、九州・沖縄・山口の文化情報の発信等に取り組んでいます。

C O N T E N T S

福岡県	九州国立博物館	1
	福岡県立美術館	3
	九州歴史資料館	5
佐賀県	佐賀県立博物館・佐賀県立美術館	8
	佐賀県立九州陶磁文化館	11
	佐賀県立名護屋城博物館	13
	佐賀県立佐賀城本丸歴史館	15
	佐賀県立宇宙科学館	17
長崎県	長崎県美術館	19
	長崎歴史文化博物館	22
	長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム	25
大分県	大分県立美術館	27
	大分県立歴史博物館	29
	大分県立先哲史料館	31
	大分県立埋蔵文化財センター	33
熊本県	熊本県立美術館	35
	熊本県立装飾古墳館	37
宮崎県	宮崎県立美術館	39
	宮崎県総合博物館	42
	宮崎県立西都原考古博物館	44
鹿児島県	鹿児島県歴史・美術センター黎明館	46
	鹿児島県立博物館	48
	鹿児島県霧島アートの森	51
	みやまコンセール	53
	上野原縄文の森	56
	鹿児島県奄美パーク	59
沖縄県	沖縄県立博物館・美術館	62
山口県	山口県立美術館	64
	山口県立萩美術館・浦上記念館	66
	秋吉台国際芸術村	68
	山口県立山口博物館	71

九州国立博物館



古くは「遠の朝廷」とよばれた日本古代史上の一大舞台、太宰府。

その太宰府に 2005 年に開館した九州国立博物館は、「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」をコンセプトとし、日本とアジア諸国との文化交流の歴史を学ぶことができます。

東京、奈良、京都に次いで 4 番目となる国立博物館です。緑豊かな自然に調和する壮大で洗練されたフォルムの九博に是非お越しください。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：福岡県太宰府市石坂 4-7-2
- 電話番号：050-5542-8600（NTTハローダイヤル）
- ホームページ：www.kyuhaku.jp
- 開館時間：9 時 30 分～17 時 00 分（入館は 16 時 30 分まで）
金・土曜日は 20 時 00 分まで夜間開館（入館は 19 時 30 分まで）
- 休 館 日：月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）・年末
- 駐 車 場：大型バス 9 台 2,000 円/回
※乗降のみの場合など、入場から 30 分以内にゲートを出れば無料
- 交 通：九州自動車道太宰府 IC・筑紫野 IC より高雄交差点経由で車で約 20 分
- 施設概要：文化交流展示室、特別展示室、体験型展示室、レストラン、カフェ、ミュージアムショップ、ミュージアムホール（約 280 席・有料）、和室、研修室、茶室、多目的トイレ、救護室

●文化交流展示室（平常展）（4階）

テーマは「海の道、アジアの路」。日本とアジア諸国との文化交流の歴史が学べます。歴史の教科書に登場する文化財にもたくさん出会うことができます。
※高校生以下無料。引率者については、事前申請手続きにより無料。



●特別展示室（3階）

国内外の優品を集めて、年間3～4回の特別展を開催しています。（別料金）

●体験型展示室“あじっば”（1階）

近世までの日本と交流のあったアジアやヨーロッパの国々の文化を、見て、聞いて、触れて、体験できる展示室です。※無料。予約不可。最大70名収容。



★学習のポイント★

- ・4階「文化交流展示室」の見学が中心になります。展示室は5つのテーマで構成されていますが、順路はありません。映像による紹介や直接手に触れることが出来る展示も一部にありますので、興味のある展示をじっくりと見学してください。

＊ボランティアによる展示解説も行っています。

（要事前申込み。最大50名）

- ・展示室内に設置のスーパーハイビジョンシアターでは、超高精細8Kスーパーハイビジョン映像を上映しています。320インチの大画面から繰り出す3300万画素の映像体験をお楽しみいただけます（当日受付順に各回34名鑑賞可）。



スーパーハイビジョンシアター

- ・なお、1階「あじっば」での体験の時間も合わせて確保されることをお勧めします。人数が多い学校は、展示見学とあじっば体験をずらすなど活動時間に工夫が必要です。

○近隣の観光地：太宰府天満宮

＊本殿への所要時間は、「虹のトンネル」を通して徒歩5分程度です。

九州国立博物館と太宰府天満宮を結ぶ、7色の光が変化する幻想的な虹のトンネル ⇒



福岡県立美術館



福岡の中心地・天神にある美術館です。福岡県や九州にゆかりのある作家の作品、福岡県の美術動向に関わる作品を中心に収蔵しています。児島善三郎や坂本繁二郎、高島野十郎をはじめとした郷土作家の作品や、福岡・黒田藩の御用絵師を務めた尾形家に伝わる約 4,700 点の絵画資料などを紹介するコレクション展のほか、特別展、企画展など多彩な美術展覧会を開催しています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：福岡県福岡市中央区天神 5-2-1
- 電話番号：092-715-3551
- ホームページ：<https://fukuoka-kenbi.jp>
- 開館時間：9時00分～18時00分（入館は17時30分まで）
展覧会は10時00分～18時00分
美術図書室は9時00分～12時00分、13時00分～17時30分
- 休 館 日：月曜日（月曜日が祝休日の場合はその翌平日）・年末年始
- 駐 車 場：無料専用駐車場（50台）あり ※バスの駐車はご相談ください
- 交 通：【地下鉄】福岡市地下鉄[天神駅]下車、徒歩10分
【自動車】福岡都市高速道路[天神北]ランプまたは[築港]ランプから3分
※その他、西鉄バス等についてはホームページをご覧ください。

●4階 展示室

福岡県ゆかりの作家の作品を中心とした当館の約1万点の収蔵品を展覧会ごとにテーマを設定して特集し、コレクション展（年3回）や企画展（年2回）で紹介しています。コレクション展および企画展は、児童生徒と引率の教職員は入場無料です。



●4階 高島野十郎特設コーナー

福岡県久留米市出身の洋画家・高島野十郎（1890～1975）の作品4～6点を常時展示しているコーナーです。どなたでも無料で鑑賞することができます。

●4階 美術図書室

3万5千冊の美術関係図書・全国美術館の展覧会図録・各種美術雑誌などを自由に閲覧できるほか、全国各地の展覧会情報を提供しています。



●3階 展示室（1～4）

年2回の特別展で国内外の優れた作品を展示しているほか、年に1回公募展「福岡県美術展覧会（県展）」を開催し、県民の作品を展示しています。

また、作品発表の場として展示室を利用させていただいており、美術家や美術団体などが開催する展覧会を鑑賞することができます。

●2階 ハイビジョンギャラリー

ルノアール、モネなどの印象派や当館コレクションを解説した番組などを大画面でお楽しみいただけます。なお、特別展開催中にはその関連番組を放映する場合があります。

●1階 展示室

3階の展示室と同様に作品発表の場として利用させていただいており、美術家や美術団体などが開催する展覧会を鑑賞することができます。

●学習のポイント

- ・当館では、ご要望に応じて「学芸員による展覧会のみどころや作品鑑賞のポイントの解説」、「文化施設利用マナーの解説」、「美術館の仕組みとそこで働く人々のことを学ぶバックヤードツアー」などを行っております。事前にお問い合わせください。
- ・時期によって開催している展覧会が異なりますので、事前にホームページ等でご確認ください。

九州歴史資料館



九州歴史資料館は、福岡県を中心とする九州の歴史とその特質を明らかにするため、古代九州を統括した「遠の朝廷 大宰府」の発掘調査をはじめとして、多角的に各種文化財の調査・研究を行っています。

2010年、小郡の地にリニューアルオープンし、大宰府史跡等の出土品をはじめ、仏像や古文書などの県内の貴重な文化財を展示しています。緑豊かな自然に囲まれた施設には、趣の異なる4つの展示室があり、古代から近代に至る歴史をたどることができます。

また、中庭からは、発掘調査出土資料の整理作業や、最新の機器を備えた保存科学諸室での保存修復作業を、いつでもリアルタイムでご覧いただくことができるのも特色のひとつです。

資料館や文化財をより身近に感じていただけるよう、職員による案内解説や、各種講座、体験学習にも力を入れています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

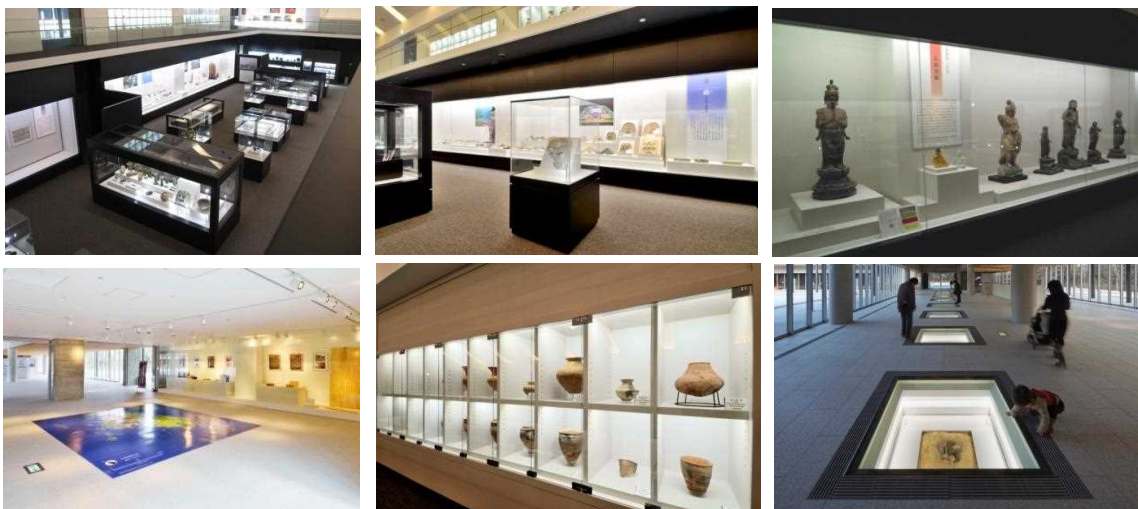
- 住所：福岡県小郡市三沢 5208-3
- 電話番号：0942-75-9575
- ホームページ：<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>
- 開館時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで）
- 休館日：月曜日（ただし祝日・振替休日の場合はその翌日）・年末年始
- 駐車場：無料 大型バス5台・乗用車56台
- 交通： 車：九州自動車道筑紫野I.C.・大分自動車道小郡I.C.から約15分
電車：西鉄天神大牟田線「三国が丘駅」から徒歩約10分



マスコットキャラクター
「きゅうおに」

●展示室

4つの展示室では、テーマにあわせて趣の異なる展示を行っています。
メインの第1展示室「歴史の宝石箱」では、旧石器時代から近代まで、九州や福岡県域の歴史を語る上で意義深い資料を取り上げ、時間の流れに沿って印象的に展示しています。第2展示室では学校向けの展示や発掘調査速報などの企画展を開催し、第3展示室には土器などの基準資料が並び、第4展示室では遺跡から切り取った遺構を真上から観察することができます。



●中庭回廊

古代の寺院を模した回廊状の中庭からは、土器などの発掘調査出土資料の整理作業や、最新の機器を備えた保存科学諸室での様々な文化財の科学的調査や保存修復作業が見学できます。



●その他の施設

研修室（最大160席）、多目的トイレ、図書閲覧室、文化情報コーナー

●見学のポイント

当館職員が案内や解説をしながら各展示室や中庭を見学していただきます。一度に案内できるのは約40名なので、これを超える場合はグループに分かれて見学していただくことになります。当館職員が案内する場合には、バックヤードである収蔵庫を見学することもできます。収蔵庫には弥生時代の北部九州に特徴的な墓制であるカメ棺を約200基収蔵展示しています。



見学以外にも、20名ほどの少人数のグループ活動に対応して、出土資料を直接手に持ってじっくり体感するハンズオンメニューのほか、復元作業をイメージした土器パズルや拓本作業体験など、無料でできる古代体験メニューもあります。土日祝日には、鏡の鑄造体験などの有料メニューや、古代衣装などの多くの体験メニューを実施しており、一度に約40名が体験できます（現在、コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止中）。

当館の指導主事が、学校側のニーズに応じた様々な学習活動の構成、計画立案、実施をサポートしますので、事前に日程や来館人数、来館のねらいなどをご相談ください。



古代衣装



拓本体験



鬼瓦パズル



鑄造体験

○近隣観光地

大刀洗平和記念館

車で約 25 分

国史跡平塚川添遺跡公園

車で約 30 分

国史跡小郡官衙遺跡

車で約 11 分

国史跡下高橋官衙遺跡公園

車で約 18 分

原鶴温泉

車で約 35 分

筑後川温泉

車で約 35 分

佐賀県立博物館・佐賀県立美術館



秋には佐賀インターナショナルバルーンフェスタが開催される「バルーンの街」、佐賀市。その中央部に位置する佐賀城公園には、佐賀県立博物館（1970年開館）、佐賀県立美術館（1983年開館）が隣り合って建っています。両館は一体的に運営され、佐賀県の特徴ある歴史や文化に関する資料の収集や展示・紹介を行い、佐賀県の文化活動の拠点として広く親しまれています。

また、2018年4月には、近代日本を代表する洋画家、岡田三郎助のアトリエを東京・渋谷から博物館東隣に移築復原して、一般公開しています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：佐賀県佐賀市城内1-15-23
- 電話番号：0952-24-3947
- ホームページ：<http://saga-museum.jp/museum/>
- 開館時間：9時30分～18時00分
- 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）・年末、県展の準備等のための休館日があります。
※詳しくは、佐賀県立博物館・佐賀県立美術館にお問い合わせください。
- 駐車場：無料 ※台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
- 交通：JR佐賀駅から市営バス「博物館前」下車すぐ・「サガテレビ前」下車徒歩2分・「県庁前」下車徒歩10分、佐賀大和I.C.から車で約20分

●【博物館】1号展示室（常設展）（博物館2階）

「佐賀の大地」と「佐賀の生き物」をテーマに、岩石や化石、野鳥や有明海の生物の標本などを展示しています。

●【博物館】2号展示室（常設展）（博物館3階）

原始・古代から近代までの佐賀の歴史を通史展示しています。吉野ヶ里遺跡出土資料や佐賀の七賢人に関する資料など、多彩な考古・歴史資料をご覧いただけます。



1号展示室（常設展）



2号展示室（常設展）

●【博物館】大展示室（博物館3階）

佐賀県内の民俗資料を一堂に紹介しています。国指定の重要有形民俗文化財である有明海漁撈用具など、佐賀ならではの貴重な資料を多数ご覧いただけます。



●【美術館】OKADA-Room（常設展・美術館1階）

佐賀に生まれ、日本近代洋画の礎を築いた洋画家・岡田三郎助。館蔵の作品を中心に、その名品をご覧いただける常設展示室です。年数回の展示替えを通じて、岡田三郎助やそのゆかりの洋画家たちの画業や生涯、その芸術の素晴らしさをダイナミックにお伝えします。



●岡田三郎助アトリエ（博物館東隣）

岡田三郎助が数々の名画を描いたアトリエを東京から移築。2018年4月に公開開始。明治末期に建てられた歴史ある建物で、一般見学のほか、研修室やイベント会場等として多目的にご利用できます。



●維新博メモリアル展示“幕末維新記念館”

明治維新150年を契機に開催し、多くの人に感動と勇気を与えた「肥前さが幕末維新博覧会」。その博覧会のメインパビリオンを再び体験することができます。



●その他施設

茶室「清恵庵」、画廊、ミュージアムカフェ、美術館ホール（487席）、屋外展示場「アラカシ広場」、古賀忠雄彫刻の森、障害者用トイレ、コインロッカー、授乳室

●学習のポイント

佐賀県立博物館では、常設展で佐賀県の歴史と文化を総合的に紹介。また、佐賀県立美術館では常設展 OKADA-ROOM のほか、館蔵品を中心にコレクション展を開催。団体見学に対しては、学芸員による展示解説を行っています。

佐賀県立九州陶磁文化館



今から約 400 年前、日本で最初に磁器が作られた有田。佐賀県立九州陶磁文化館では、有田焼や唐津焼をはじめ、九州各地の陶磁器の歴史や文化を学ぶことができます。

江戸時代の有田焼約 1000 点を展示する世界屈指の『柴田夫妻コレクション』や、江戸時代に長崎出島から世界へ輸出された有田焼の里帰り品を展示する『蒲原コレクション』をはじめ、九州各県の古陶磁、現代作家作品をお楽しみ頂けます。そのほか、定刻に音楽を奏でる「有田焼からくり時計」や有田町と姉妹都市のドイツ・マイセン市から贈られた「マイセンの鐘」もみどころです。

日本磁器発祥の地で、みなさまの御来館をお待ちしております。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1
- 電話番号：0955-43-3681
- ホームページ：<https://saga-museum.jp/ceramic/>
- 開館時間：9 時 00 分～17 時 00 分
(入館は 16 時 30 分まで)
- 休館日：月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末 ※施設改修のため令和 3 年 1 月 1 日から 3 月 31 日まで臨時休館
- 入館料：無料 ※特別企画展は有料 (なお、特別企画展中でも高校生以下は無料)
- 駐車場：無料
- 交通：JR/松浦鉄道 有田駅から徒歩約 12 分
波佐見有田インターチェンジから車で約 10 分

●第1展示室（特別企画展ほか）

特別企画展やテーマ展等を展示。また、茶室が併設されています。

●第2展示室（常設展）「現代の九州陶芸」

九州各県の間人国宝をはじめとする優れた陶芸家の作品を展示しています。



●第3展示室（常設展）「九州の古陶磁」

九州各地の古陶磁が展示されています。

佐賀県の唐津焼をはじめ、有田焼（初期伊万里・古伊万里・柿右衛門）・鍋島焼などの製品のほか、長崎県の亀山焼・現川焼・平戸焼、福岡県の高取焼・上野焼・須恵焼、熊本県の網田焼・小代焼・八代焼、大分県の小鹿田焼、宮崎県の蓬莱山焼（丸山焼）、鹿児島県の薩摩焼（龍門司・苗代川）、沖縄県の壺屋焼など、江戸時代に九州で開花した多彩な焼物を紹介しています。



●第4展示室（常設展）「九州陶磁の歴史」

九州陶磁の源流である中国・朝鮮陶磁の流れから日本陶磁の歴史、有田焼とオランダ貿易の特色など、絵画パネルや年表を用い、グローバルな有田焼の歴史を分かりやすく学べます。江戸時代に世界へ輸出され日本に里帰りした豪華な有田焼の蒲原コレクションも必見です。



●第5展示室（常設展）「柴田夫妻コレクション」

柴田明彦・祐子夫妻から 10,311 点寄贈された世界有数の有田焼コレクションです。その中から約 1,000 点を展示。毎年一度展示替えをしており、江戸時代の有田焼の変遷や江戸時代の食器文化が分かります。



●その他施設

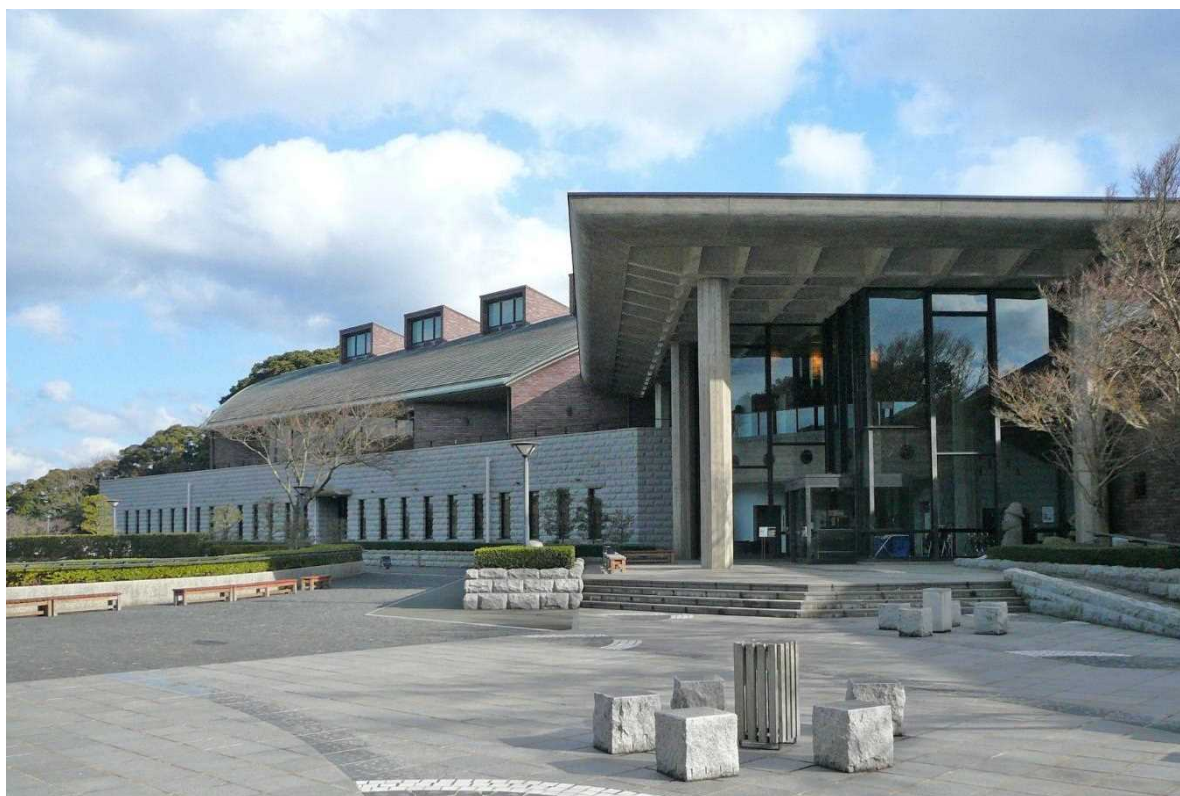
カフェ、ミュージアムショップ、講堂（約 200 席）、茶室、多目的トイレ（有田焼トイレもあります。）

●学習のポイント

まず初めに、第4展示室「九州陶磁の歴史」の見学をお薦めします。歴史を学んだあとは、「柴田夫妻コレクション」、「九州の古陶磁」、「現代の九州陶芸」の展示室を巡ってください。エントランスでは、館蔵品の画像を用いたやきものパズルにも挑戦できます。現代の有田焼の窯元達によって制作された「からくり時計」もお見逃しなく。

*学芸員による展示解説（要事前申し込み）

佐賀県立名護屋城博物館



天下統一後に豊臣秀吉がおこなった大陸侵攻（文禄・慶長の役）における出兵拠点となった唐津市の名護屋城跡。

その場所に 1993 年に開館した県立名護屋城博物館は、「日本列島と朝鮮半島との交流史」をメインテーマに様々な展覧会やイベントを開催しているほか、遺跡の保存整備も進めています。

歴史ある唐津のまちで、みなさまのお越しをお待ちしています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：佐賀県唐津市鎮西町名護屋 1931 番 3
- 電話番号：0955-82-4905
- ホームページ：<http://saga-museum.jp/nagoya/>
- 開館時間：9時00分～17時00分
- 休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）・年末
- 駐車場：普通車 58 台（身障者用 3 台含む）、大型バス 6 台 無料 ※名護屋城跡と共用
- 交通：長崎自動車道多久インターより車で約 70 分
JR 唐津駅より車で約 30 分。

●常設展示室（2階）

原始・古代から近現代にいたる日本列島と朝鮮半島との交流の歴史をメインテーマとし、その資料を展示しています。



●その他施設

貸しホール（500席）、ミニシアター、図書閲覧室・ビデオコーナー、企画展示室、障害者用トイレ

●学習のポイント

常設展示室は「日本列島と朝鮮半島との交流史」をテーマにしています。原始・古代からの中世に至る時代、文禄・慶長の役、江戸時代以降の時代にわけて紹介しています。

また、名護屋城跡や周辺陣跡の発掘調査の成果を紹介するコーナーも設けています。

小学生～中学生向けのワークシート（クイズ形式）等もご用意できます。

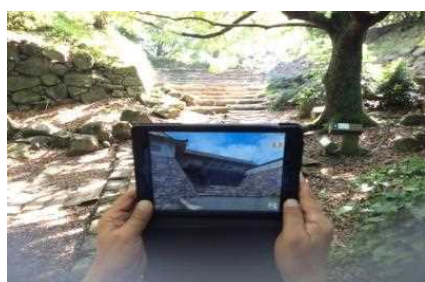
＊「バーチャル名護屋城」「名護屋城跡案内アプリ」

専用タブレット端末の無料貸出あり、ただし台数限りがあります。

また、「バーチャル名護屋城」用タブレット端末については、休館日・雨天時は貸出ができません。

ホール（500席）にて、「幻の巨城 肥前名護屋城」（10分間）を上映可能。

ガイドンスとしても利用できます。



佐賀県立佐賀城本丸歴史館



佐賀城本丸歴史館は、天保期の佐賀城本丸御殿の遺構を保護しながら復元した施設で、2,500平方メートルの規模を誇ります。

館内では幕末・維新时期を先導した佐賀藩の科学技術や鍋島直正をはじめとした佐賀の偉人たちの功績を分かりやすく紹介しています。皆様の御来館を心からお待ちしております。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：佐賀県佐賀市城内2-18-1
- 電話番号：0952-41-7550
- ホームページ：<https://saga-museum.jp/sagajou/>
- 開館時間：9時30分～18時00分
- 休館日：年中無休（ただし、12月29日～31日は休館、他にも臨時休館日あり）
- 駐車場：119台（バス駐車場9台含む）
- 交通：JR佐賀駅から車で約10分
佐賀駅バスセンターの3番のりばから【6】佐賀城跡線に乗車。
佐賀城跡バス停で下車してすぐ。（約10分）
佐賀空港からバスで約20分
- 入館料：無料（募金のご協力をお願いしています。）

●外御書院

一之間～四之間と廊下を合わせると 320 畳にもなる当時の大空間を体感できます。幕府からの贈答品やお世継ぎのお披露目など佐賀藩の公式行事が行われていました。



外御書院

●御三家座

10代藩主鍋島直正が再建した佐賀城本丸御殿。当時の「佐賀城御本丸差図」や古写真などをもとに復元しました。佐賀城の特徴や佐賀城本丸御殿の復元過程を知ることができます。



御三家座

●御料理間

80 インチの大型モニターや透明ディスプレイで佐賀藩の近代化を紹介。また模型を使い幕末佐賀藩が推進した科学技術の成果を学ぶことができます。



御料理間

●御座間

「鯨の門」とともに現存する天保期の建物で、藩主鍋島直正の居室でした。
(佐賀市重要文化財)



御座間



鯨の門

●その他施設

ミュージアムショップ、コインロッカー、多目的トイレ、授乳室

●学習のポイント

天保期の姿をのこし、佐賀の乱の銃弾跡も刻まれている「鯨の門」(国重要文化財)や天守台、石垣など佐賀城の敷地内を散策してください。その後、館内をじっくりと見学してください。*ボランティアによる解説あり(要事前申込み)

佐賀県立宇宙科学館



佐賀県西部の武雄市に1999年に開館した宇宙科学館は、緑に囲まれた抜群の自然環境のもと、太陽系、銀河系などの宇宙をはじめ、自然環境や科学について、子供から大人まで楽しみながら学ぶ体験型の科学館です。

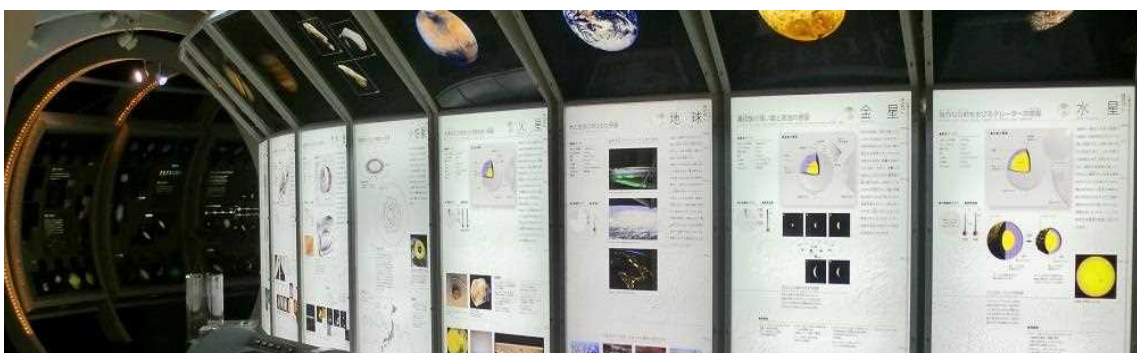
池ノ内湖畔の自然豊かな環境の中で、みなさまをお待ちしています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：佐賀県武雄市武雄町永島 16351
- 電話番号：0954-20-1666
- ホームページ：<http://www.yumeginga.jp>
- 開館時間：9時15分～17時15分（平日）、9時15分～18時00分（土日祝）
- 休 館 日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）（GW・夏休み期間は無休）
- 駐 車 場：約500台、無料
- 交 通：長崎自動車道・北方ICより車で約15分
- 宇宙発見ゾーン（常設）（3階）

太陽系や銀河系、宇宙に関する最新の天文学に触れ、惑星探検やロケットの打ち上げ、月面歩行などの疑似体験により、宇宙への夢を育みます。



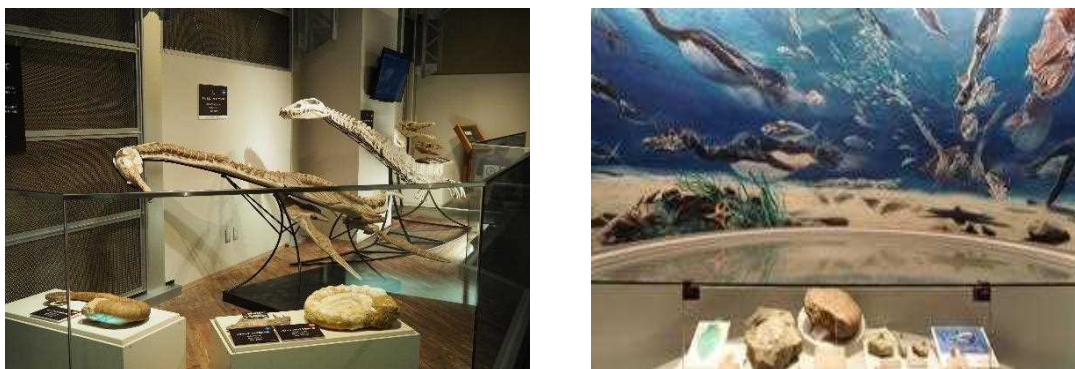
●地球発見ゾーン（常設）（1・2階）

3つのテーマをもとに参加体験型のアイテムを展示しています。
高所に張られたロープを自転車で疾走して物理を学ぶ体験のほか、宇宙と地球、そして私たち生命とのつながりを科学の視点から学びます。



●佐賀発見ゾーン（常設）（1階）

太古の地球へと誘う地底トンネルや、佐賀の水辺の生き物を集めたアクアリウム、地震体験マシンなど、さまざまな自然の営みを紹介しています。



●その他の施設

ミュージアムショップ、レストラン、図書室、天文台、プラネタリウム（200席）、企画展示室、科学実験室、障害者用トイレ、こどもの広場（授乳・おむつ交換所）、救護室

●学習のポイント

科学館では学校の体系的な教育とは違い、来館者の「知りたい」「やってみたい」という気持ちを触発し、好奇心の扉を開けるきっかけをつくりたいと考えています。

科学館は必ずしも子どものためだけの施設ではありません。大人も子どもも、年齢にかかわらず、共に楽しみ学ぶためのワクワクする仕掛けが多数あります。

宇宙科学館でのひとは、児童・生徒が自らの体を使い、考え、行動する「科学する心」を育む絶好の機会となります。

長崎県美術館



長崎県美術館は、地域の活性化及び芸術文化活動の拠点として、優れた美術作品の鑑賞及び学習の機会を提供するとともに、創作活動及び作品発表等の支援を通じて、生涯学習に対応した文化的環境の整備を図り、もって新たな長崎県の文化の創出に寄与することを目的として、平成 17 年 4 月に開館しました。

当館では、より多くの児童・生徒にご利用いただくため、専門のエducatorを配置し、学校利用のためのスクールプログラムを作成しています。

利用の目的や生徒の状況等に応じたプログラムを当館エドyueーターと協議しながら作成することが可能ですので、学校・学級単位でのご利用をお待ちしています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：〒850-0862 長崎市出島町 2 番 1 号
- 電話番号：095-833-2110 FAX:095-833-2115
- ホームページ：<https://www.nagasaki-museum.jp/>
- 開館時間：10：00～18：00（金曜日・土曜日は20：00まで）
- 休館日：毎月第2・第4月曜日（祝日・休日の場合は火曜日休館）、年末年始
- 入館料：無料
- コレクション展観覧料：一般420円（団体340円）、大学生・70歳以上310円（団体250円）、小中高生210円（団体170円）
※団体料金は15人以上 ※県内の小中学生は無料
※障害者手帳等提示者及び介護者1名無料
※開館の月曜日は団体割引料金で入場可（マンデーミュージアム割引）

- 企画展観覧料：展覧会によって異なります
- 駐車場：美術館（企画展、コレクション展、ショップ、カフェ等）をご利用の方は、近隣県営駐車場の料金割引あり（3時間まで50円/30分）

●アクセス

- ・路面電車「出島」電停より徒歩3分／「メディカルセンター」電停より徒歩2分
- ・長崎新地バスターミナルより徒歩5分／JR長崎駅より徒歩15分
- ・長崎港ターミナルより徒歩10分
- ・長崎自動車道（長崎IC）より、ながさき出島道路経由5分

●コレクション展

長崎県美術館の最大の特徴のひとつは、東洋有数の規模を誇るスペイン美術コレクションです。

「須磨コレクション」を核に、ピカソやダリといった優れたスペイン美術を多数収蔵しています。

また、明治期以降の長崎出身作家の作品や、長崎をテーマとした作品を数多く収蔵し、絵画、彫刻はもとより、現在美術や写真、デザインなど多様なジャンルの作品を紹介します。



●企画展

毎年、複数の大型企画展を開催しています。

●スクールプログラム

・鑑賞プログラム

鑑賞プログラムでは、展示作品の自由鑑賞のほか、スタッフと一緒に会話をしながら鑑賞する「おしゃべり鑑賞」を行います。「おしゃべり鑑賞」とは、作品や作者についての一方的な解説ではなく、コミュニケーションを通して作品を鑑賞する方法で、作品の歴史的背景や理論を知ることが第一目的とはせず、作品を見て感じたことや考えたことを大切に、作品への興味を高めます。

・表現プログラム

ワークショップ等により作品への興味、関心を深めます。

・幼稚園・保育園向けプログラム

幼稚園・保育園のお子様親子に親しみやすいように、鑑賞と表現を組み合わせたプログラムです。遊びながら表現の幅を広げます。



●その他施設

県民ギャラリー、ミュージアムショップ、カフェ、ホール、講座室、アトリエ、屋上広場等

「長崎水辺の森公園」に隣接する美術館は、公園の一部としての機能も果たしています。ギャラリー棟の一部には盛り土を施したうえ植栽し、屋上も芝などで緑化して、公園との緑の連続を図っています。また、彫刻なども設置する屋上庭園には美術館の中からも外からも自由にアクセス可能。水辺に映える緑の中、自然を感じながら美術と親しんでいただけます。



長崎歴史文化博物館



「長崎歴史文化博物館」は、「海外交流史」をテーマにした博物館で、資料や美術工芸品を展示し、常設展示では、「西洋との出会い」「朝鮮との交流」「長崎貿易」「中国との交流」「長崎の暮らし」「長崎の美術工芸」「オランダとの交流」「近代化の魁・長崎」などの展示ゾーンを設けています。ここはかつて「長崎奉行所」があった場所で、敷地内にはその一部を復元。御白洲では当時の裁判の様子を再現した寸劇を上演しています（土日・祝日のみ）。そして、長崎に伝わる伝統工芸の体験工房や貸工房、資料閲覧室なども併設されており、観るだけでなく、歴史を体感できる博物館となっています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：長崎県長崎市立山1丁目1番1号
- 電話番号：095-818-8366
- ホームページ：<http://www.nmhc.jp/>
- 開館時間：4月～11月 8：30～19：00
12月～3月 8：30～18：00
12月30日～1月3日 10：00～18：00
※最終入館はいずれも30分前まで
- 定休日：毎月第3月曜日 ※祝日の場合は翌日
- 入館料：無料
- 常設展示室観覧料：一般630円(団体500円)、小中高校生310円(団体250円)
※団体料金は15人以上

- 駐車場：普通車 60 台 障害者用 2 台 大型観光バス 5 台 計 67 台
- 交通：路面電車：「桜町」電停下車、徒歩5分または「市民会館」電停下車、徒歩7分
路線バス：「桜町公園前」下車、徒歩3分または「歴史文化博物館前」下車

1. 西洋との出会い～南蛮貿易とキリスト教～

Encounter with the West

「南蛮屏風」の世界を、長崎開港と朱印船貿易、海外交流の制限について拡大された展示ケースで紹介します。南蛮美術や朱印船貿易家たちの遺品、島原・天草一揆の舞台原城からの出土品などが見どころです。



南蛮人来朝之図
(部分)

▲ ページの先頭へ

体験コーナー

Experience

子どもから大人まで楽しめる体験コーナーが質・量ともに大幅アップ!

「活版印刷の植字」「目利き体験」「龍馬と写真撮影」「モールス符号発信」など五感で長崎の歴史や文化に出会える新感覚の展示です。



▲ ページの先頭へ

● 長崎奉行所関連展示

長崎奉行所の成立や変遷を、絵図面や出土品などを通して紹介しています。



◎長崎奉行の職務

長崎奉行は、行政・司法・外交・貿易・軍事全般とキリシタン・密貿易の取り締まりなど、多岐にわたる職責を担っていました。その職務内容を紹介しています。

◎犯科帳の世界

「犯科帳」とは、長崎奉行所の判決記録集のことです。この中から、密貿易やくんち、ペーロンなどの年中行事に際して起こった事件を取り上げ、わかりやすく紹介しています。

◎歴代長崎奉行

127代を数える歴代長崎奉行を紹介するとともに、遠山景晋（遠山の金さんの父）をはじめ、歴史に名を残した奉行の業績などを、在任した時代背景と照らし合わせながら紹介しています。

長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム



「香港上海銀行長崎支店」は、明治37年に竣工し、昭和6年の支店閉鎖後は、大浦警察署や長崎市歴史民俗資料館として長く市民に親しまれてきました。平成2年に国の重要文化財に指定され、平成7年、建設当初の姿に復元されました。翌年、「長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館」として開館、平成26年には「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」を併設し、リニューアルオープンしました。

異国の香りが漂う館内では、国際貿易港長崎が日本の近代化に果たした役割や、長崎出身の実業家・梅屋庄吉と孫文との友情を中心とした海外交流の歴史を学ぶことができます。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：長崎県長崎市松が枝町4番27号
- 電話番号：095-827-8746
- ホームページ：http://www.nmhc.jp/museum_hsb/
- 開館時間：9時00分～17時00分（最終入館は20分前まで）
- 休館日：毎月第3月曜日 ※祝日の場合は翌日
- 入館料：一般300円(団体240円)、小中学生150円(団体90円)
※団体料金は15人以上
- 駐車場：なし
- アクセス：路面電車：「大浦天主堂」電停下車、徒歩3分
路線バス：「グラバー園入口」下車、徒歩1分

◆1F

銀行として使用されていた当時の雰囲気伝える展示と、異国の香りが漂うホールで小音楽会や小規模の講演会等が開催できる多目的ホールです。



◆2F

中国革命の父孫文とその革命を支え続けた長崎出身の実業家・梅屋庄吉の国境を越えた友情の歴史、唐人貿易が行われた江戸時代から深いつながりを持つ華僑の人々の、明治以降の長崎での活躍ぶりを紹介します。



◆3F

西洋と東洋が交ざり合う国際貿易港長崎。交通・通信網の重要な拠点都市であった上海と定期航路で結ばれ、海底通信ケーブルが敷設されて世界とつながるなど、長崎が果たした役割は大きい。居留地を舞台に活躍した外国人の暮らしや、建築家下田菊太郎の業績を紹介します。また、楽しく学べる体験コーナーもあります。



大分県立美術館



©Hiroyuki Hirai

温暖で風光明媚、豊かな自然に培われた、柔らかな県民性と、アジアや西洋から異文化を受け入れ吸収しながら、伝統や風習に融合してきた大分県。

大分市の中心に大分のユニークな文化風土にちなんだ「出会いと五感のミュージアム」として、2015年4月に大分県立美術館は開館しました。

大分と世界、古典と現代、美術と音楽など、様々な出会いをテーマにした展覧会を通じて、みなさまに新たな発見や刺激をご提供します。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住所：大分県大分市寿町2番1号
- 電話番号：097-533-4500
- ホームページ：<http://www.opam.jp>
- 開館時間：10時00分～19時00分
※金曜日・土曜日は20時00分まで（入場は閉館の30分前まで）
- 休館日：原則無休（館内点検等による臨時休館を除く）
- 駐車場：大型バスは乗降のみ可能（駐車は中型、マイクロバスまで）
※バスでご来館の場合、2週間前までに「団体利用申込書」をご提出ください。
- 交通：JR大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分、大分ICから車で10分
- 団体利用：コレクション展は、20名様以上から団体割引のチケットを販売いたします。
企画展は、展覧会ごとに定めます。

●3階 コレクション展示室

大分には、江戸期以降、数多くの美術家を輩出した、豊かな文化風土がある。こうした美術家たちの秀作を、年6回程度の展示替えを行いながら紹介する。

コレクション展観覧料 一般300（250）円／大学生・高校生200（150）円

※（ ）内は有料入場 20名以上の団体料金。

※中学生以下は無料、高校生は土曜日に観覧する場合は無料。

●2階 情報コーナー（無料）

目で楽しむブックギャラリーとして、企画展ごとに関連した書籍や利岡コレクションの現代アートを展示。閲覧も可能。



3階 コレクション展示室
（日本画）



3階 コレクション展示室
（洋画）



2階 情報コーナー
写真3点／©Hiroyuki Hirai

●2階 アトリエ、体験学習室

全身で美術を楽しむためのワークショップやレクチャーを開催。（無料）

●1階 展示室A、3階 展示室B

年間5回程度の企画展や県内外の美術団体による貸館事業を実施。（別料金）

●1階 アトリウム、その他施設（ホワイエ、屋外展示スペース、カフェ、ミュージアムショップ、研修室、多機能トイレ）

ガラス張りの開放的なアトリウム。気軽にアートを楽しめる空間が広がる。（無料）



1階アトリウム
©Hiroyuki Hirai



1階ミュージアムショップ
©Hiroyuki Hirai



3階屋外展示スペース
（天庭）

●学習のポイント

2階では、「びじゅつって、すげえ！」をキーワードに、モノを見る楽しさを多くの人に伝えるOPAM教育普及の活動や、身近な大分の美に着目し、県内全域の石や土、植物などから様々な“美のカケラ”を集めてつくったオリジナル教材ボックスを紹介しています。

常設のコレクション展では、大分県ゆかりの作家たちの作品を展示し、大分の風土や美術史を学ぶことができます。企画展は時期により内容が変わりますので、その都度ご確認いただくことをお勧めします。

大分県立歴史博物館



大分県立歴史博物館は、史跡公園「宇佐風土記の丘」にあります。館内には、国宝・富貴寺大堂の創建時の再現や熊野磨崖仏、臼杵石仏の実物大のレプリカを展示するとともに、世界農業遺産・田染荘などの大分県の豊かな歴史と文化を紹介しています。令和3年2月2日からは、この富貴寺大堂と熊野磨崖仏にCG映像などを投影し、大堂や磨崖仏が造られた時代背景やその世界観を紹介するプロジェクションマッピングが公開されています。

広大な史跡公園内には、6基の前方後円墳のほか四季の花木が見られ、隣接の宇佐市運動公園と併せてウォーキング・散策・休憩などの場として親しまれています。公園内散策の際には、古墳の歴史的背景や、現在は公開されていない石室内の様子等を詳細な映像で解説したタブレット「AR 風土記の丘」を無料で貸し出していますので、是非、ご利用ください。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：大分県宇佐市大字高森字京塚
- T E L：0978-37-2100
- ホ-ム^ -ヾ： <https://www.pref.oita.jp/site/rekishihakubutsukan/>
- 開館時間：9時00分～17時00分（入館は16:30まで）
- 休 館 日：月曜日（祝日・振替休日の場合は、その直後の平日）
年末年始（12/28～1/4）
- 観 覧 料：中学生以下無料
一般 310 円（団体 210 円） 高・大学生 160 円（団体 100 円）
※団体は 20 人以上

- 駐 車 場：140台（バス13台分あり） 無料
- 交 通：東九州自動車道「宇佐IC」より12分、「院内IC」より15分
宇佐神宮より車で5分
JR 柳ヶ浦駅から車で5分、JR 宇佐駅から車で10分

●常設展示室

平常展を実施しており、「豊の国おおいたの歴史と文化—くらしと祈り—」をテーマに展示を構成しています。

- ①富貴寺大堂の世界 ②熊野磨崖仏 ③鍔絵 ④生・死・いのり ⑤豊の古代仏教文化
- ⑥宇佐八幡の文化 ⑦六郷山の文化 ⑧広がる仏教文化 ⑨信仰とくらし



●第1企画展示室、第2企画展示室

年間5回程度の企画展・特別展を開催しています。

●古墳

宇佐風土記の丘史跡公園内には、昭和55年に国指定の史跡とされた6基の前方後円墳からなる「川部・高森古墳群」があります。また、古墳群の1基である免ヶ平古墳から出土した3面の銅鏡や勾玉などの豊富な副葬品（被葬者へのお供え物）は、平成26年8月21日付で国指定の重要文化財に指定されました。



●学習のポイント

歴史博物館では、児童生徒のみなさんが地域の詳しい歴史や文化財について楽しく学べる学校向けの事業を実施しています。

①博物館でわくわく体験

博物館探検、ミニチュア土器作り、拓本に挑戦、展示学習講座

②風土記の丘の利用

スケッチ大会、風土記の丘ウォークラリー、AR風土記の丘（タブレット貸出し）

大分県立先哲史料館

Oita Prefecture Ancient Sages Historical Archives



大分県立先哲史料館は、大分県ゆかりの先哲（先人）とふるさとの歴史・文化を紹介する施設です。

大分県立図書館・大分県公文書館とともに「豊の国情報ライブラリー」として、「ふるさと大分」の魅力の発見・継承をすすめています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：大分県大分市王子西町14番1号
- T E L：097-546-9380
- ホ-ム-ペ-ジ：http://www.pref.oita.jp/site/sentetsusiryokan/
- 利用時間：9時00分～17時00分（展示室、閲覧室）
- 休 館 日：月曜日（祝日等の場合は、その翌日）
年未年始（12/28～1/4）
- 入 館 料：無料（展示室、閲覧室）
- 駐 車 場：172台（地下1階、県立図書館バス停前） 無料
- 交 通：（車の場合）大分ICから10分
（バスの場合）JR大分駅府内中央口（北口）バス乗り場から
県立図書館行きに乗車し、県立図書館前で下車
（JRの場合）大分駅から徒歩25分、西大分駅から徒歩15分

◆先哲史料館の取り組み

- 1 「ふるさとを知る拠点」として、大分県ゆかりの先哲や歴史・文化の展示を開催しています。
- 2 「ふるさとの知の泉」として、さまざまな調査を行い、史料館の「先哲・歴史講座」、各地の学校での「子ども先哲・歴史講座」、地域での訪問講座で情報発信しています。
- 3 「ふるさとの蔵」として、各地の歴史資源といえる記録史料などの調査と保全を行い、写真などで「ふるさとの記録」を閲覧いただけます。

◆展示室（豊の国情報ライブラリー1階） 入館無料

◎平常展では、「大分の先哲」の紹介をしています。

◎1年に6回程度の企画展を開催し、大分の歴史と文化を多面的に紹介しています。



平常展の風景



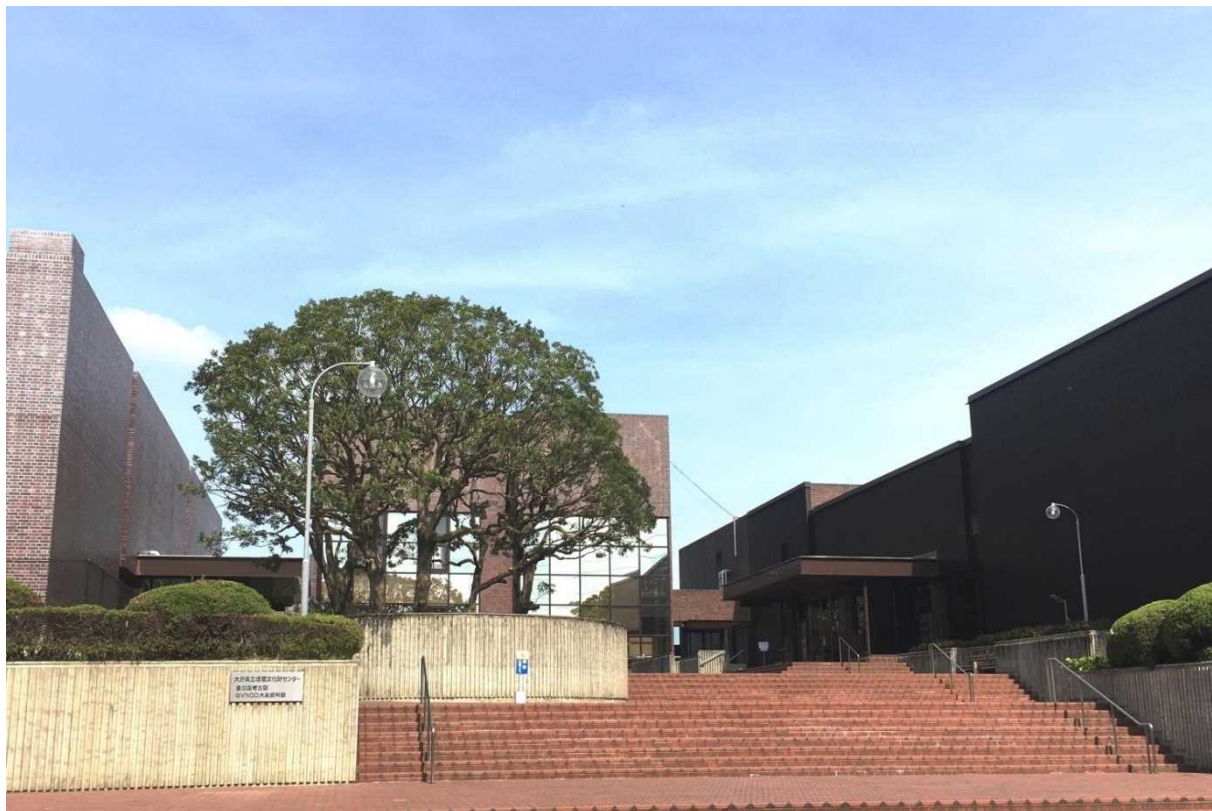
夏休み企画展の風景

◆閲覧室（豊の国情報ライブラリー3階）

◎大分の記録史料の複製本（写真帳）や大分の歴史・文化に関わる図書をごらんいただけます（貸出はできません）。



大分県立埋蔵文化財センター



大分県立埋蔵文化財センターは、大分市牧の旧芸術会館跡地に平成29年4月にリニューアルオープンした施設です。これまでは、大分県の歴史を解明するための発掘調査や出土した遺物の保管を主な業務としていましたが、考古資料で大分の歴史を語る二つの展示室と勾玉作りなどが楽しめる歴史体験学習館を備え、多くの方により身近な施設として生まれ変わりました。全国でも最大規模の展示施設を有する大分県立埋蔵文化財センターを体験してみませんか。

以下はコロナ禍前のDATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所：〒870-0152 大分県大分市牧緑町1-61
- 電 話：097-552-0077
- ホームページ：<http://www.pref.oita.jp/site/maizobunka/>
- 開館時間：9時00分～17時00分（入館は16時30分まで）
- 休 館 日：年末年始（12/28～1/4）・月曜日（祝日・振替休日の場合は翌平日）
- 観 覧 料：無料
- 駐 車 場：170台（身障者・大型車駐車場あり） 無料
- 交 通：JR牧駅（日豊本線）より徒歩5分
牧バス停より徒歩3分
JR大分駅より国道197号線を通って車で10分

●豊の国考古館（常設展示）

大分県の旧石器時代から江戸時代までの歴史を学ぶ多くの貴重な遺物を展示し、大分県にいつ人が住み始め、どのような生活をしていたかや、土器の移り変わりが一目でわかります。



●BVNGO大友資料館（常設展示）

豊後府内の町に残された資料から大友氏の栄華を探る華やかな大友氏の時代を感じる国内外の様々な遺物を常設展示しました。
中世大友府内町跡から出土した煌めく品々をご覧ください。

●考古情報室

身近にある遺跡はどんな遺跡？ここで調べて疑問解決！
考古情報室では大分の発掘調査報告書や考古学関係の一般図書を多数開架しており、いつでも自由に閲覧できます。



●歴史体験学習館

体験をとおして古代人の知恵を知り、生きる力を育む古代人になりきって、勾玉や土器作りに挑戦してみませんか。（一部有料）

●整理作業見学室

普段目にすることができない発掘調査の整理作業（土器洗い、接合、図面作成工程等）を見学できます。



●企画展・特集展コーナー

年間4回の企画展、2回の特集展
令和2年度の企画展は「安国寺遺跡展」「宗麟の愛した南蛮文化」「宇佐高村焼とその世界」「学校の遺跡」

●学習のポイント

①展示室はおもに2つあり、観覧時間は豊の国考古館では30分、BVNGO大友資料館では20分は最低必要です。その他企画展も同時に開催しています。

②歴史体験学習館では、勾玉作り（60分）、土器作り（80分）、犬形土製品作り（30分）、古代機織り（60分）、組紐作り（30分）、火おこし体験（30分）、鋳造体験（30分）等の歴史体験が行えます。一度に30～40名までは対応できます。

③事前にご連絡をいただければ、各学校のニーズに応じて、展示見学や体験学習を組み合わせた様々な学習活動の実施をサポートします。



熊本県立美術館



熊本県立美術館は、国の特別史跡である熊本城の二の丸広場の一角に位置し、古代から現代の美術まで網羅する総合美術館として昭和51年3月に開館しました。考古、絵画、版画、彫刻、工芸、書蹟などが収蔵・展示され、なかでも装飾古墳室は古代の造形美をわが国における美術の原点としてとらえた特徴ある施設です。

平成4年10月に、千葉城町に県立美術館分館が開館し、個人、グループ、団体の発表の場として利用されています。

また、永青文庫の文化財を熊本で鑑賞したいという内外からの要望に応え、平成20年、「細川コレクション永青文庫展示室」を開室。肥後熊本54万石の大名だった細川家に伝来する歴史的・文化的価値の高い美術工芸品や古文書等が常時展示されています。

本館では、企画展、共催展、貸会場展など多彩な展覧会を開催する一方、教育普及活動として講演会、子ども美術館（鑑賞とワークショップ）、コンサートなどを行っています。

以下はコロナ禍前のDATA及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

	県立美術館 本館	県立美術館 分館
住 所	熊本市中央区二の丸 2 番	熊本市中央区千葉城町 2-18
電 話 番 号	096-352-2111	096-351-8411
ホームページ	https://www.pref.kumamoto.jp/site/museum/	
開 館 時 間	9:30~17:15 (入館は 16:45 まで)	火曜~金曜 9:30~18:30 (入館 18:00 まで) 土・日・祝 9:30~17:15 (入館は 16:45 まで)
休 館 日	月曜、年末年始 ※但し月曜が祝日の場合は開館、翌日が休館	
駐 車 場	二の丸駐車場 (有料)	有
交 通	〔熊本 IC から〕 国道 57 号線を熊本市街地方面へ車で約 30 分 〔益城・熊本空港 IC から〕 県道 36 号線 (第二空港線) を熊本市街地方面へ車で約 40 分	

●細川コレクション永青文庫展示室 (別棟展示室)

細川コレクションは、公益財団法人永青文庫が所蔵する文化財で、肥後熊本54万石を治めた大名・細川家に伝来した美術工芸品や、古文書類から構成されます。当館では、別棟展示室を中心に、歴代当主の甲冑や当主夫人の婚礼調度、書画などの展示を行い、熊本の歴史や美術、細川家の大名文化を定期的に展示替えを行いながら、総合的に紹介しています。

観覧料：高校生以下無料



横山大観《焚火》大正4年(1915)

※展示期間にご注意ください。

●装飾古墳室 (本館)

熊本県の代表的な装飾古墳を実物とレプリカで再現したものです。

装飾古墳とは、石棺や石室あるいは横穴墓の内・外面に彫刻や彩色により文様や絵画などの装飾を施した古墳のことで、4世紀末頃から7世紀頃まで造られ、全国で700基(平成22年現在)が知られていますが、九州の北・中部に集中的に存在しています。とくに熊本県内には200基が分布しており、装飾古墳の発生と展開などを考えるうえで注目されています。

※観覧料：無料

